

2023年（第33回）福岡アジア文化賞

FUKUOKA PRIZE 2023



公式行事について

1 概要

福岡アジア文化賞では、9月に下記のとおり公式行事を執り行います。いずれも無料で参加（視聴）することができます。

なお、第33回の受賞者は裏面の方々に決定しております。受賞者を福岡にお招きして開催しますので、職員の皆様におかれましては、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

2 主な公式行事

日	時	行 事	場 所
9月12日 (火)	18:15～ 19:45	第33回 授賞式	福岡国際会議場 (3F メインホール)
9月13日 (水)	18:30～ 21:30	市民フォーラム 芸術・文化賞 受賞者 張 律 (チャン・リュル) 氏	中洲大洋映画劇場 (2F 大洋1)
9月14日 (木)	18:30～ 20:30	市民フォーラム 学術研究賞 受賞者 カターリヤ・ウム氏	アクロス福岡 (4F 国際会議場)
9月15日 (金)	18:30～ 20:30	市民フォーラム 大賞 受賞者 トンチャイ・ウィニツチャクン氏	アクロス福岡 (4F 国際会議場)

※ 授賞式

会場参加とアーカイブ配信があります。

会場参加は事前申込制（※8月15日まで受付中）、アーカイブ配信は申込不要。

※ 市民フォーラム

会場参加とアーカイブ配信があります。いずれも事前申込制。

（※会場参加：7月18日～8月31日、アーカイブ配信：7月18日～9月16日）

7月下旬に、改めて行事の詳細についてご案内いたします。

【問い合わせ先】 総務企画局 国際部 アジア連携課（福岡アジア文化賞委員会事務局）

担当：長岡、円城寺 Tel：092-711-4930（内線1340、1341）

★ 福岡アジア文化賞 URL <http://fukuoka-prize.org/>

2023年（第33回）福岡アジア文化賞



FUKUOKA PRIZE 2023

受賞者



大賞 トンチャイ・ウィニッチャクン氏（65歳） Thongchai WINICHAKUL

歴史学者

民主主義と市民社会の発展に貢献し、知識人の範となる歴史学者

- ・地図の作成と利用のされ方に着目し、近代的な国家と国民がいかに確かな実態として人々の心の中に入り込み、存在するようになったのかを研究し、世界の人文・社会科学に大きな影響を与えた
- ・代表作『地図がつくったタイ』は東南アジアを越えてナショナリズム研究に大きく貢献。最新の著書では新たな歴史学の方向性と可能性に挑んでいる
- ・タイの学生や市民の政治意識や活動を支え導き、大学と社会をつなぎ民主主義と市民社会を発展させるため貢献し続けている



学術研究賞 カターリヤ・ウム氏（62歳） Khatharya UM

政治学者・東南アジア研究者

移民や難民の人々の苦境に光を当て、現代世界の課題に挑む政治学者

- ・祖国カンボジアの悲劇の歴史を掘り下げつつ、移民や難民の人々の苦境に光を当て、鋭い分析でグローバル研究の新たな領域を開拓
- ・学問の自由と発展を促す教育を目指して教鞭を執り、次世代の育成に力を注ぐ優れた教育者でもある
- ・平和で公正な世界の実現を目指し、国際的な共同研究に邁進。協力して知を革新し、国境を越えた市民の絆の構築に尽力している



芸術・文化賞 張 律（チャン・リュル）氏（60歳） ZHANG Lu

映画監督

国籍・国境を越えた比類なき「東アジア映画」を創り続ける映画監督

- ・アジア各国のスタッフ・キャストと協働しながら中国・韓国・日本の地方都市を舞台に据えて、国籍・国境を越えた独創的な作品を創り続けている
- ・映画人との越境的なコラボレーションを通じて、その作品世界においても異文化の融和や共生のビジョンを表現し、世界的に高く評価されている
- ・三部作『群山：鷺鳥を詠う』『福岡』『柳川』は、多国籍の映画人が創り上げた全く新しい「東アジア映画」である